

各

| |
|---------|
| 都 道 府 県 |
| 保健所設置市 |
| 特 別 区 |

 衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省健康・生活衛生局食品監視安全課長
(公 印 省 略)

有毒植物による食中毒防止の徹底について

例年、特に春先から初夏にかけて、有毒植物の誤食による食中毒が多く発生しています。令和 5 年もイヌサフラン、トリカブト、スイセン等の有毒植物の誤食による食中毒事例（事件数 18 件、患者数 33 名）が報告されています。

つきましては、各都道府県等におかれては、厚生労働省で作成したリーフレットや自然毒のリスクプロファイルを活用するなどにより、食用と確実に判断できない植物については、絶対に「採らない」、「食べない」、「売らない」、「人にあげない」よう注意喚起を行うようお願いします。

注意喚起を行う際には、例年、患者の多くを高齢者が占めていることに鑑み、地域広報誌等の高齢者の目にもとまりやすい各種メディアの活用や高齢者施設等の関係団体を通じ、継続的に行っていただくようお願いします。また、過去には有毒植物が野菜又は野菜の苗として販売されていた事例や観賞用植物を誤食したことによる食中毒事例も報告されていることから、必要に応じ、野菜、花き及びこれらの種苗の販売者等を所管する農林部局等関係部局とも連携し、事業者に対する監視指導や消費者への注意喚起を行うようお願いします。

参考) 厚生労働省ホームページ

- 有毒植物による食中毒に注意しましょう
(http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/yuudoku/index.html)
- 自然毒のリスクプロファイル
(http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/poison/index.html)

(参考) 令和5年の有毒植物における食中毒事件の例

【事例1】

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 発生年月日 | 令和5年4月11日 |
| 発生場所 | 新潟県 家庭 |
| 原因植物 | トリカブト |
| 概要 | 野草のトリカブトをモミジガサと誤って採取・喫食し、食中毒症状を呈した。 |
| 患者 | 1名(70代男性) |
| 主な症状 | 嘔吐、吐き気、ふらつき等 |

【事例2】

| | |
|-------|--|
| 発生年月日 | 令和5年4月17日 |
| 発生場所 | 宮城県 家庭 |
| 原因植物 | バイケイソウ |
| 概要 | バイケイソウをウルイ(オオバギボウシ)と誤って採取・喫食し、食中毒症状を呈した。 |
| 患者 | 1名(60代男性) |
| 主な症状 | 腹痛、吐き気、嘔吐、下痢、めまい |

【事例3】

| | |
|-------|--|
| 発生年月日 | 令和5年5月28日 |
| 発生場所 | 千葉県 家庭 |
| 原因植物 | スイセン |
| 概要 | 知人から譲り受けたスイセンの球根をタマネギと誤って調理・喫食し、食中毒症状を呈した。 |
| 患者 | 7名(70代~男性2名、70代~女性5名) |
| 主な症状 | 嘔吐等 |

【事例4】

| | |
|-------|--|
| 発生年月日 | 令和5年6月19日 |
| 発生場所 | 福岡県 |
| 原因植物 | マムシグサ |
| 概要 | 山中に自生していた植物の果実（マムシグサ）をその場で喫食し、食中毒症状を呈した。 |
| 患者 | 1名（10代男性） |
| 主な症状 | 口内の痛み、口唇の腫れ |

【事例5】

| | |
|-------|----------------------------------|
| 発生年月日 | 令和5年11月15日 |
| 発生場所 | 香川県 家庭 |
| 原因植物 | ヨウシュヤマゴボウの実 |
| 概要 | 野草のヨウシュヤマゴボウの実を採取・喫食し、食中毒症状を呈した。 |
| 患者 | 1名（60代女性） |
| 主な症状 | 嘔吐、下痢等 |